

# 平成30年度 認知症地域支援推進員 活動報告書

(八尾市)

## キッズサポーター

平成30年度より3か年計画にて  
八尾市内全小学校（28か所）  
キッズサポーター養成講座の開催



西山本小学校4, 5, 6年生  
認知症キッズサポーター養成講座

「認知症」って、なあに？



平成30年4月28日  
八尾市認知症サポーターキャラバンイベント

多くの専門職より  
“若い世代へ啓発  
したい”の  
声が届いて  
実現できてきまし  
た！

## 小学生からの質問(例)

- ・犬が認知症になることってありますか？
  - ・もし小学生が認知症になったらどうするのですか？
  - ・食べたことを忘れた人がまた食べるとき、胃袋の状態はどうなっているのですか？
  - ・認知症は怖いですか？
- などの質問がありました



## H30年度開催実績

6小学校開催  
578名受講。

今後の予定  
2小学校開催予定。

## 地域で一般募集の(誰でも参加可能！) 認知症サポーター養成講座企画開催



チェーン店薬局  
店内カフェブース  
で  
開催！

特養さんの  
テイルーム  
で  
開催！



市民より  
“どこかで  
サポーター養成講座  
してませんか？”の  
声に応えたい！

場所探し、チラシの配布、  
関係機関への協力など  
試行錯誤で開催。

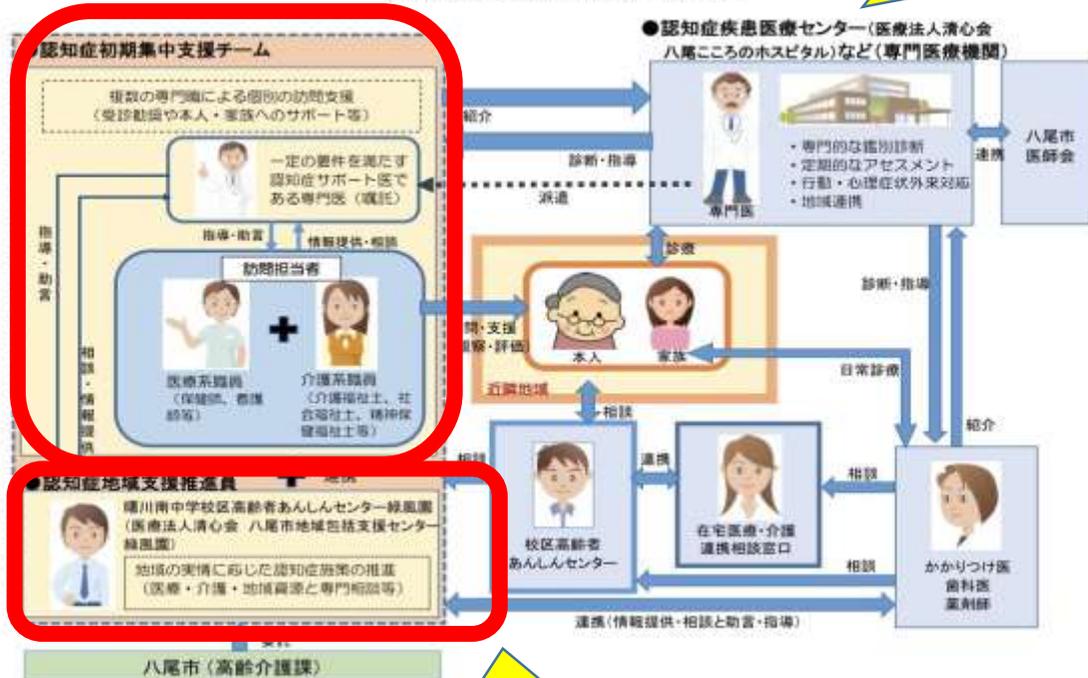
**H30年度開催実績**  
7か所開催 87名受講。  
今後、2か所開催予定。

家族が認知症の理解がで  
きていないケースなどの  
際に講座案内していただ  
くことが増えました。

行政、医療、介護、地域  
より多くの協力が得られ  
るようになった！

# H30年4月より 認知症初期集中支援チーム が設置されました。

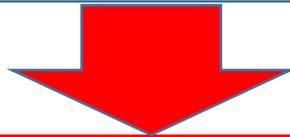
八尾市認知症初期集中支援チームについて



認知症疾患医療センターとの  
連携強化！  
(定期的な情報共有の機会をもつ)

認知症初期集中支援チームへの  
相談経路について

相談は、すべて地域包括支援センター（校区高齢者あんしんセンター）より受ける流れになっています。



・認知症初期集中支援チームと  
認知症地域支援推進員の連携は重要！  
⇒  
認知症初期集中支援の個別ケースを通じて把握された地域課題を整理することで認知症地域支援推進員として、地域づくりの活動に（行政機関などとの協働で）活かしていきます。

連携構築に向けて  
地域ケアケース会議、包括専門職  
会議などへ積極的に参加！

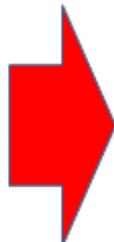


## 認知症カフェの推進活動



活動前の思い)

- ①認知症カフェって何？
- ②どこに、だれに話をしに行くの？
- ③一人でどうしたらいいのかなあ？



地域のどこかでいつも気軽に相談できたり、自分の思いを伝えたり、情報を知れる場所。人とつながれる場所を作りたい！

活動開始)

- ①市内1か所であったCAFÉここを市のモデル事業として、認知症カフェの啓発・広報周知活動を行っていく。
- ②市内全包括、グループホーム、認知症対応型通所介護などの訪問で認知症カフェの紹介や開催の提案を行う。
- ③市の担当者と認知症カフェの事業化に向けての相談を行う。



H29年度より“やおオレンジカフェ”として、市の登録制事業が開始。

推進員としては、

- ①登録要綱案
- ②のぼりデザイン案作成に携わる。



**やおオレンジカフェ**  
(H31.1月末までの登録12か所)



## やおオレンジカフェの参加者の声(一例)



いつもお父さんは、何度も同じことを言うので本当につかれます。ここに来たらみなさんがやさしく話を聞いてくれるので安心します。



ここに来るのが楽しみです。

母の介護はしていきたいが僕もしんどいことがある。今日は話を聞いてもらってありがとうございます。



家にひとりでもテレビを見るだけ。ここ(やおオレンジカフェ)に来て、みんなと話すだけでもうれしいと思っている。



# 認知症高齢者声かけ体験の開催

目的)

- ①認知症の理解を広め一人でも多くの地域の方が認知症の人や家族を見守り支える意識を持てるようにしていく。
- ②認知症の徘徊による行方不明をできるだけ早く発見し無事に保護できるような仕組みをつくる。
- ③認知症になっても安心して外出できるまちづくりを目指すことができる。

地域の方が主体となって開催しています。  
 地域住民、行政、包括、推進員などで声掛け体験の詳細な内容を話し合いました。  
 (特に認知症高齢者役の設定には気がつかいしました。)



**H30年度開催実績**

- ・久宝寺地区 54名参加
- ・安中地区 37名参加
- ・八尾市民生委員 65名参加
- ・ザ・レスタージュマンション 17名参加
- ・志紀地区 33名参加

今後の開催予定  
 2月 竹漕地区開催

**実施してこんなことが...**

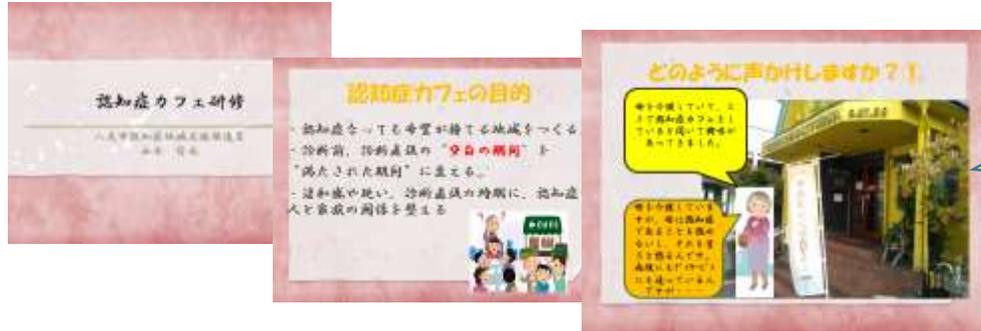
例・声掛けに拒否が強いケースでは、上手く対応できず参加者が思わず涙ぐんでしまうことも・・・

にこにこしている高齢者役になると逆に声かけにくいなどの意見もありました。

**参加者の感想(アンケートより一部抜粋)**

- ・知らない人(特に異性に対して)へ声を掛けるのが難しい。
- ・地域で高齢者を見守っていけるよう、すすんで声掛けしていこうと改めて思った。
- ・何も声を掛けることができない、なんと難しいことかと知った。

## “認知症カフェ研修”の企画、開催



地域のボランティアグループ、民生委員、民間団体に向けて開催させて頂きました。  
受講後、やおオレンジカフェを開催されたりスタッフとして活動しています。

地域で認知症カフェの開催などの提案をすると

・“認知症カフェ”ってなんですか？  
“認知症カフェ”ってどうしたらできるのですか？  
・参加していくにはどうしたらいいですか？  
などの声がありました。

平成30年度実績

2回開催 32名参加

今後の開催予定

3月 介護予防サポーター向けに開催予定

## “認知症ライフサポート研修”の企画、開催

専門職の方との何気ない  
普段の会話から

認知症の相談ケースが多くなってきたけど、大変になってからの相談になっていることが多い。もっと早くに相談してくれればいいのに・・・の声がありました。



医療、介護の専門職向けに開催させて頂きました。  
認知症の方の初期への関わり方の大切さや、職種間のアセスメントの視点の違いを改めて気づける機会になりました。